

# うなばら



発行：五十嵐小学校

新潟市西区寺尾西4-23-1（〒950-2064）  
Tel. 025-269-3117(代) Fax. 025-269-3118URL:<http://www.ikarashi-e.city-niigata.ed.jp/>

## 「少しずつの改善」

校長 諸橋 智

コロナ禍においても、東京オリ・パラに続き北京冬季オリ・パラが開催され、多くの希望をあふれるニュースが届きました。中でもノルディック複合で、渡部暁斗選手が3大会連続の表彰台に上がり銅メダルに輝きました。今季は不振に苦しんでいた中、大一番で意地を示したと報道されました。

この渡部選手が競技後「現状維持は後退でしかない。常に成長していくためには、現状に満足せず何か新しいことにトライしていかないと、現状維持すらできない」と語っています。羽生選手や平野選手の姿も同様、今までと同じことをして形に残すことより、今までの自分を超越しようとする姿が人々の心に強く刻み込まれたことは間違いありません。

今年度、学校では、昨年来整理した活動の再編成を少しずつ進めてきました。その主眼は「少しずつの改善」であり、一つ一つの活動の実施内容とその成果を検討しながら、子ども主体のものへと質を向上させることでした。

ウイズコロナの様相となった中、前期は十分に実施できない行事もありましたが、後期には縦割りなかよし班を中心に、子どもたちが考える場と自己決定をする場の積み重ねが少しずつ具体化されました。この少しの改善に、子どもと教職員が一緒になって取り組むことで、子どもたちの成長を着実に見ることができました。

先日行われた六送会では、秋に6年生が示してくれた修学旅行ムービーが発端となり、5年生を中心として各学年でも力作ムービーが生み出されました。どの学年も、役割を分担し思考を交流させることで思いを共有するという、協働的な学びの目的が達成され、今年度の集大成とも言える活動となりました。

毎年同じ行事は行われるのですが、その中身や道程はその年によって、子どもによって異なるものです。出来栄を語る上で大切なことは、子どもの思いがどれだけ生きているかという視点だと考えています。次年度は、子どもと教職員と地域の協働の下、地域に根差し地域と共につくる教育活動で、思いを共有する活動の具現を目指します。令和3年度の教育活動へのご理解、ご協力に感謝申し上げます。

いよいよ明日は、第49回卒業証書授与式を迎えます。今年度最後の高みに向け子どもたちは毎日を創ってきました。卒業生を全校児童で見送ることができないことは残念ですが、六送会から続いたお祝いする思いは、みんな一つです。